

平成29年度 事業概要

安全・安心な暮らしと地域の発展を支える社会基盤の整備推進



栗原市マスコットキャラクター
ねじりほんによ

平成29年6月

宮城県北部土木事務所栗原地域事務所

目 次

1 管内の概況	1
2 事務所の概要	1
3 事業概要について	3
4 主要事業	
(1) 防災道路ネットワークの形成と地域の発展・交流基盤を強化する道路整備の推進	
・みやぎ県北高速幹線道路（Ⅳ期）	7
・(国)398号 湯浜雪寒（防雪）事業	8
・(主)築館栗駒公園線 沼倉災害防除事業	9
・(一)岩入一迫線 草木沢災害防除事業	10
・(一)若柳築館線 川南道路改良事業	11
・(国)398号 温湯道路改良事業	12
・(主)築館登米線 萩沢道路改良事業	13
・(一)大鳥沢辺線 稲屋敷道路改良事業	14
・(主)河南築館線 萩沢土橋地区交通安全施設整備事業	15
・(都)源光町田線 内沢道路改良事業	16
(2) 「災害に強い川づくり」など治水対策等の推進による総合的な防災力の強化	
・一級河川 迫川 河川改修事業	18
・一級河川 荒川 河川改修事業	19
・一級河川 照越川 河川改修事業	20
・一級河川 小山田川 河川改修事業	21
・北沢向 急傾斜地崩壊対策事業	22
・総合流域防災事業（土砂災害危険箇所基礎調査）	23
・総合的な防災力の強化	24
(3) 既存施設の適正な維持管理・更新	
・(国)398号 川南舗装補修事業	26
・(一)真山高清水線 小山田舗装補修事業	27
・既存施設の適正な維持管理・更新	28

1 管内の概況

当事務所の所管区域は、平成 17 年 4 月 1 日に旧栗原郡 9 町 1 村の合併により誕生した栗原市全域であり、総面積は約 806km²（県全面積の約 11%）、人口は平成 29 年 3 月現在で約 7 万人（県人口の約 3%）である。四方を秋田・岩手両県及び大崎市・登米市に接している。

地勢について、西北部は栗駒山を中心とする急峻な奥羽山脈が聳え、栗駒山麓を水源に一級河川北上川水系の迫川、二迫川、三迫川が東部の平地を流下し、豊饒な大地を育てている。また、ラムサール条約に登録され、国内有数の渡鳥の飛来地である伊豆沼・内沼をはじめ、豊かな自然環境や風光明媚な景観に恵まれている。

気候について、築館の年平均気温は仙台と比べ 1～3℃ほど低いが、降雨量は仙台とほぼ同じ 1200mm 程度である。山地部は降雨量も多く、県内有数の豪雪地帯である。

交通体系については、JR 東北新幹線、東北本線、東北自動車道及び国道 4 号が当区域を縦断し、基幹交通軸として重要な役割を果たしている。また東北自動車道と三陸自動車道を連絡する東西交通軸として、みやぎ県北高速幹線道路の整備を進めている。近年では、東北新幹線「くりこま高原」駅、東北自動車道「築館 IC」、「若柳金成 IC」及び国道 4 号築館バイパスの周辺区域において、工業団地造成による自動車関連産業等の誘致など開発動向が顕著であり、圏域の活性化を牽引している。

当地域の主要産業は農業であり、就農者の高齢化、後継者不足等により過疎化が進行し人口は減少傾向にある。このため、工場誘致等による新たな産業の確立や定住化等に努めているほか、平成 20 年 6 月の「岩手・宮城内陸地震」により甚大な被害を受けた栗駒山麓を中心に市全域が「ジオパーク」の認定を受けたことから、観光振興による地域活性化や交流促進等に積極的に取り組んでいる。

2 事務所の概要

当事務所は、栗原地域における安全・安心な暮らしの確保や経済・産業等の基盤づくりなどに向け、道路や河川及び砂防施設の整備及び管理を推進している。

道路については、管内を縦断する東北自動車道や国道 4 号へのアクセス確保及び補完する国県道 30 路線、約 341km を管理しており、広域的な防災道路網の構築や物流及び交流の促進、快適で安全な通行を確保するため、道路建設（街路整備含む）や維持管理に取り組んでいる。

河川については、一級河川北上川水系 43 河川、約 347km を管理しており、頻発する豪雨災害から人命財産を守り、地域の活性化に向けた産業等の基盤づくりを支えるため、河川改修や堆積土砂、除草、河川内樹木伐採など疎通性確保や環境保全に努めている。また、水害常襲河川を水位周知河川に指定し、河川水位の情報発信を行うことで洪水時の避難体制に活用いただくなど、ソフト対策にも取り組んでいる。

砂防については、砂防指定地 124 箇所、地すべり防止区域 4 箇所、急傾斜地崩壊危険区域 19 箇所が指定されており、土砂災害を防止するための施設整備とともに、管内の土砂災害危険箇所（518 箇所）について、土砂災害警戒区域の早期指定に向けた基礎調査の実施や住民等への周知などのソフト対策を進め、緊急時の避難に向けた防災意識の啓発を図っている。

<管内の現況>

1) 道路管理の現況

(平成28年 4月 1日現在)

道路種別	実延長(m)	改良済		舗装済		橋梁		トンネル		路線数
		実延長(m)	率(%)	実延長(m)	率(%)	数(本)	延長(m)	数(本)	延長(m)	
国道(指定区間外)	96,670.7	95,475.9	98.8%	96,652.7	100.0%	67	1,831.3	1	70.0	2
主要地方道	115,649.5	107,597.0	93.0%	115,551.2	99.9%	63	2,014.9	2	1,450.0	10
一般県道	128,692.5	113,607.8	88.3%	122,167.6	94.9%	73	1,792.0	0	0.0	18
計	341,012.7	316,680.7	92.9%	334,371.5	98.1%	203	5,638.2	3	1,520.0	30

(数値は「平成28年度みやぎの道路」による)

2) 河川管理の現況

(平成29年 4月 1日現在)

種別	水系名	河川名	区 域		区間延長(m)	指定年月日
			起 点	終 点		
一級	北上川	迫川, 二迫川, 三迫川等 計 43河川	栗原市花山本沢岳山国有林 41林班地先	栗原市若柳, 登米市境	346,832	S40. 3. 24指定

3) 砂防指定地の現況

(平成29年 4月 1日現在)

区 分	指定区域	指定箇所数	指定面積	備 考	
栗原市	栗駒地区	二迫川, 三迫川等の溪流	41箇所	220.14 ha	
	一迫地区	迫川, 長崎川等の溪流	14箇所	54.79 ha	
	鶯沢地区	二迫川, 鉛川の溪流	11箇所	22.27 ha	
	金成地区	夏川の溪流	4箇所	2.25 ha	
	花山地区	迫川, 草木川等の溪流	54箇所	277.89 ha	
合 計		124箇所	577.34 ha		

4) 地すべり防止区域指定の現況

(平成29年 4月 1日現在)

区 分	指定区域	指定面積	備 考
栗原市	築館上宮野地区	本木	12.41 ha
	若柳武鎗地区	武鎗	9.50 ha
	栗駒沼倉地区	駒の湯	12.33 ha
	花山草木沢地区	宿	12.90 ha
合 計	4箇所	47.14 ha	

5) 急傾斜地崩壊危険区域指定箇所の現況

(平成29年 4月 1日現在)

区 分	指 定 箇 所				計	
栗原市	築館地区	白坂の1 0.660 ha 7戸	根岸の1 2.430 ha 11戸	根岸の2 0.970 ha 5戸	町 浦 0.945 ha 12戸	計 4箇所 5.005 ha 35戸
	若柳地区	かけ 1.260 ha 17戸	武 鎗 1.370 ha 5戸	町館の2 0.120 ha 8戸		計 3箇所 2.750 ha 27戸
	栗駒地区	岩ヶ崎 0.740 ha 17戸	枇杷田 0.490 ha 5戸	有賀沢 0.640 ha 8戸		計 3箇所 1.870 ha 30戸
	一迫地区	川 内 1.830 ha 9戸	寺 前 0.750 ha 5戸			計 2箇所 2.580 ha 14戸
	鶯沢地区	北沢向 1.270 ha 50戸	中荒町 0.320 ha 25戸	原 山 0.770 ha 10戸		計 3箇所 2.360 ha 85戸
	金成地区	蔵本沢 1.100 ha 14戸	高見山 1.460 ha 15戸	後 山 2.330 ha 9戸	小沢田 0.380 ha 11戸	計 4箇所 5.270 ha 49戸
合 計					計 19箇所 19.835 ha 240戸	

6) 土砂災害警戒区域の指定状況

(平成29年 4月 1日 現在)

	土石流危険箇所				急傾斜地危険箇所				地すべり危険箇所	合計
	I	II	III	計	I	II	III	計		
基礎調査済数	67	102	0	169	54	80	7	141	12	322
区域指定済数	66	26	0	92	50	53	1	104	11	207
未調査箇所数	0	91	0	91	0	100	5	105	0	196
栗原管内箇所数	67	193	0	260	54	180	12	246	12	518

※ I, II, III: 危険度ランク

7) 都市計画区域の現況

(平成29年 4月 1日現在)

計 画 名	旧市町村毎の面積	合計面積
栗原都市計画	栗原市 9,025 ha、 登米市(旧石越町) 116 ha	9,141 ha

3 事業概要について

3-1 平成29年度の事業方針

「宮城県社会資本再生・復興計画」の発展期に向け、また当地域の発展に結実する基盤の確立に向け、社会基盤整備の着実な推進及び防災機能の強化を図ることとする。

また、災害時の迅速な避難行動に結びつく円滑で的確な情報伝達の確立・強化など、ソフト対策による防災力の強化、既存施設については適正な管理や計画的更新による機能維持に加え、地域との連携・協働による施設管理を推進する。

- (1) 防災道路ネットワークの形成と地域の発展・交流基盤を強化する道路整備の推進
- (2) 「災害に強い川づくり」など治水対策等の推進による総合的な防災力の強化
- (3) 既存施設の適正な維持管理・更新

3-2 事業の取組み

- (1) 防災道路ネットワークの形成と地域の発展・交流基盤を強化する道路整備の推進

① 防災道路ネットワークの形成による圏域間の連携・交流の強化

広域幹線道路整備や県際・圏際道路及び緊急輸送路等における災害防除や耐震補強等による機能強化を図り、災害時の物資輸送や救援・支援など、防災道路ネットワークの形成を図ることで圏域間の連携・交流等を促進させる。

<主要事業>

- ・みやぎ県北高速幹線Ⅳ期区間（(主) 築館登米線） 《道路建設班》
- ・雪崩対策：(国) 398号（花山本沢岳山）スノーシェッド 《道路管理班》
- ・災害防除：(主) 築館栗駒公園線、(一) 岩入一迫線 《道路管理班》
- ・道路改良：(国) 398号（花山温湯） 《道路建設班》

② 地域の発展を支える道路整備の推進

身近な生活道路等の整備により、交通安全の確保と利便性の向上により、生活・産業基盤の確立を促進させる。

<主要事業>

- ・交差点改良：(一) 大鳥沢辺線外（栗駒稲屋敷） 《道路建設班》
- ・道路改良：(一) 若柳築館線（若柳川南） 《道路建設班》
- ・歩道整備：(主) 河南築館線（築館萩沢土橋） 《道路管理班》
- ・街路整備：(都) 源光町田線（築館内沢） 《道路建設班》

(2) 「災害に強い川づくり」など治水対策等の推進による総合的な防災力の強化

① 「災害に強い川づくり」など治水対策等の推進

「災害に強い川づくり」など治水対策等の推進及び平成 27 年 9 月豪雨災害箇所 の早期復旧完了により、安全・安心な暮らしを確保し、地域の活性化に向けた生活・産業等の基盤づくりを支える。

<主要事業>

- ・H27.9 月豪雨未完了箇所の早期復旧完了（68 箇所） 《河川砂防班・道路管理班》
- ・「災害に強い川づくり事業」推進：迫川若柳工区・荒川・照越川 《河川砂防班》
- ・砂防事業：迫川小川原砂防えん堤（H29.6 完了予定）、急傾斜地崩壊対策（北沢向）
《河川砂防班》

② 総合的な防災力の強化

土砂災害警戒区域の早期指定及び住民周知、関係機関等との点検や住民への防災意識の啓発・高揚を図る。また洪水時等に迅速な避難行動が図れるよう、円滑で的確な情報伝達の強化など、防災力の強化による人的被害の未然防止に努める。

<主要事業>

- ・河川情報の提供（洪水予報河川：迫川 1 河川、水位周知河川：二迫川など 7 河川）
《河川砂防班》
- ・「水防警報情報伝達マニュアル」（北部土木栗原地域事務所版）に基づく的確な情報伝達
《河川砂防班・行政班》
- ・土砂災害危険箇所基礎調査：135 箇所（H30 完了予定） 《河川砂防班》
- ・土砂災害防止パトロールによる危険箇所の調査 《河川砂防班》

(3) 既存施設の適正な維持管理・更新

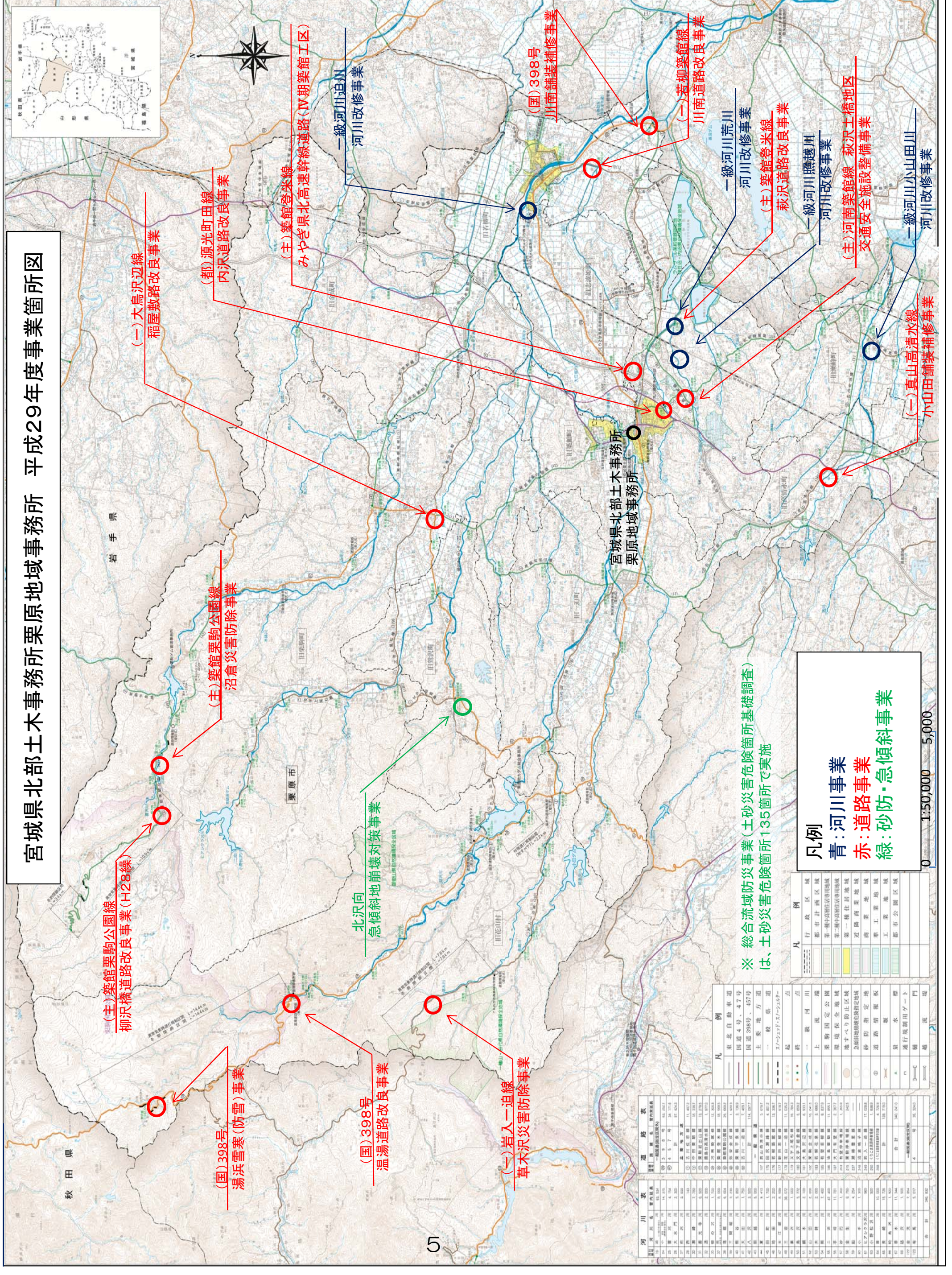
既存の公共土木施設について、パトロールや点検により道路（法面・橋梁など含む）、河川・砂防施設における異常箇所の早期発見・補修及び計画的な維持管理・更新を行う。

さらに地域住民や関係機関、スマイルサポーター等との連携・協働による施設管理の取組みを推進する。

<主要事業>

- ・舗装補修：(国) 398 号（若柳川南）、(一) 真山高清水線（高清水小山田）など
《道路管理班》
- ・道路や河川・砂防等パトロールによる異常箇所の早期発見、補修 《所内全職員》
- ・地域住民やスマイルサポーター等との連携、協働による管理
愛護団体（道路：8 団体・河川：10 団体）（H29.4 月末現在）
スマイルサポーター（道路：40 団体・河川：5 団体）（H29.4 月末現在）
《行政班・道路管理班・河川砂防班》

宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 平成29年度事業箇所図



(主)築館栗駒公園線
柳沢橋道路改良事業(H28線)

(一)大高沢辺線
稲屋敷路改良事業

(都)源光町田線
内沢道路改良事業

(主)築館栗駒公園線
沼倉災害防除事業

(国)398号
湯浜雪寒(防雪)事業

(国)398号
温湯道路改良事業

(一)岩入一迫線
草木沢災害防除事業

北沢向
急傾斜地崩壊対策事業

(国)398号
川南舗装補修事業

(一)若柳築館線
川南道路改良事業

一級河川荒川
河川改修事業

(主)築館登米線
萩沢道路改良事業

一級河川照越川
河川改修事業

(主)河南築館線 萩沢土橋地区
交通安全施設整備事業

一級河川小山田川
河川改修事業

(一)真山高清水線
小山田舗装補修事業

宮城県北部土木事務所
栗原地域事務所

※ 総合流域防災事業(土砂災害危険箇所基礎調査)は、土砂災害危険箇所135箇所を実施

凡例

青: 河川事業
赤: 道路事業
緑: 砂防・急傾斜事業

凡例	行政区域
[Pattern]	郡市界区域
[Pattern]	第一種中核市界区域
[Pattern]	第二種中核市界区域
[Pattern]	第一種住居地域
[Pattern]	近隣商業地域
[Pattern]	商業地域
[Pattern]	工業地域
[Pattern]	都市公園区域

河川表		道路表	
河川名	延長(km)	道路種別	延長(km)
荒川	18.1	国道4号	1.2
照越川	15.2	一般国道	0.8
小山田川	12.5	市道	1.5
...
合計	56.0	合計	3.5

0 1:50,000 5,000

4 主要事業

- (1) 防災道路ネットワークの形成と地域の発展・交流基盤を強化する道路整備の推進

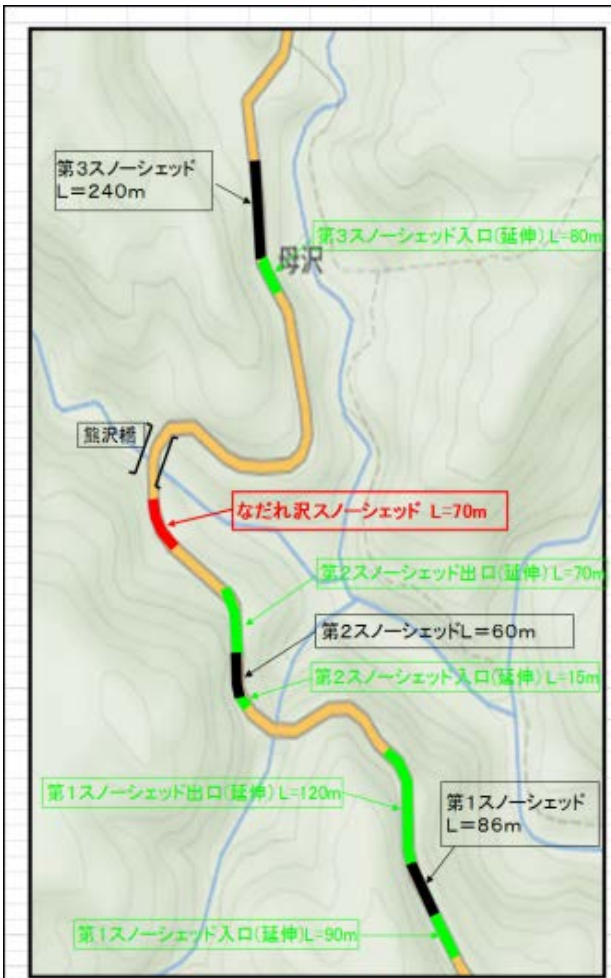
みやぎ県北高速幹線道路(Ⅳ期) (主)築館登米線

事業名	道路改築費補助(復興枠)	
事業概要	東日本大震災の際、沿岸部と内陸部を結ぶ横断道路は「命の道」として重要性を発揮した。「みやぎ県北高速幹線道路」は、加速的に整備が進む三陸自動車道と東北自動車道とを結ぶ「復興支援道路」として整備を推進しており、広域的な連携・交流の促進や、災害時の救援・物資輸送をはじめ防災ネットワークとしての役割、さらには栗原・登米地域の生活・産業基盤の確立など、多くの効果発現が期待されている。	
事業内容	1 事業箇所 栗原市志波姫南堀口～築館萩沢 2 全体事業費 C=5,900百万円 3 施工延長 L=約1.7km 4 事業期間 平成25～30年度 5 進捗率(H28末) 52% 6 H29事業費 C=2,000百万円	【全体計画】 計画延長 L=約1.7km 橋梁 N=4橋 【平成29年度事業概要】 道路改良(盛土工) V=100,000m ³ 橋梁上部工 後沢本線橋, 萩沢忽滑沢本線橋, 萩沢前1号本線橋
事業効果	Ⅳ期区間(築館工区)は、平成23年度に供用したⅠ期区間と国道4号築館バイパスを結び、渋滞緩和や地域間の交流促進、産業支援などへの効果が期待される。	



国道398号 湯浜雪寒(防雪)事業

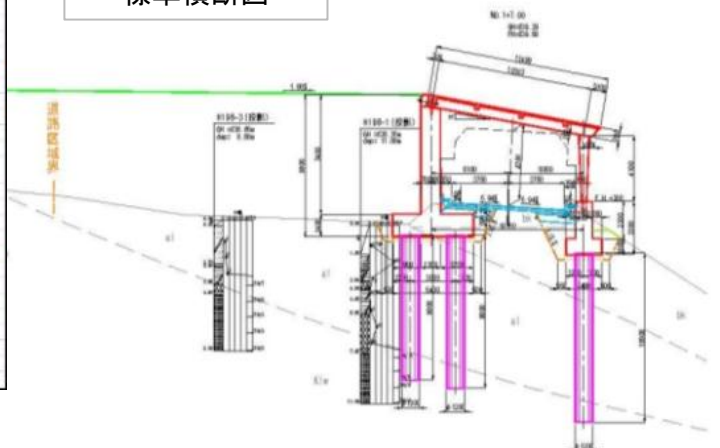
事業名	社会資本整備総合交付金(防災安全)	
事業概要	<p>(国)398号は、石巻市を起点に女川町、南三陸町、登米市、栗原市を經由し、秋田県由利本荘市に至る幹線道路である。事業箇所である栗原市花山本沢地区は、県北西部の栗駒国定公園内に位置し、雄大で風光明媚な自然景観に恵まれ、年間50万人もの観光客が訪れる。一方、県内有数の豪雪地帯であり、当箇所を含む秋田県境までの14.1km区間は、毎年冬期間の通行を閉鎖しており、春の閉鎖期間短縮による早期開通が望まれている。</p> <p>当箇所は、H14道路防災総点検における雪崩危険箇所である。H24の現地調査より、春先に全層雪崩及びブロック雪崩が発生しやすいことが判明し、冬期閉鎖解除に著しい障害となっていることから、スノーシェッド等の整備により冬期閉鎖解除の早期化を図り、観光振興及び交流を促進させるものである。</p>	
事業内容	<p>1事業箇所 栗原市花山本沢岳山地内</p> <p>2全体事業費 C=4,400百万円</p> <p>3施工延長 L=831m</p> <p>4事業期間 平成12年度～平成38年度</p> <p>5進捗率(H28末) 20%</p> <p>6 H29事業費 C=70百万円</p>	<p>【全体計画】 L=831m スノーシェッド本体工(上・下部工)L=831m</p> <p>【平成29年度概要】 28・29年度2ヶ年債務工事 なだれ沢工区 上・下部工 L=70m</p>
事業効果	雪崩対策により安全で円滑な通行確保と冬期閉鎖解除の早期化が図られ、観光振興や交流など地域の活性化が促進する。	



なだれ沢現況写真(H28.12.5)



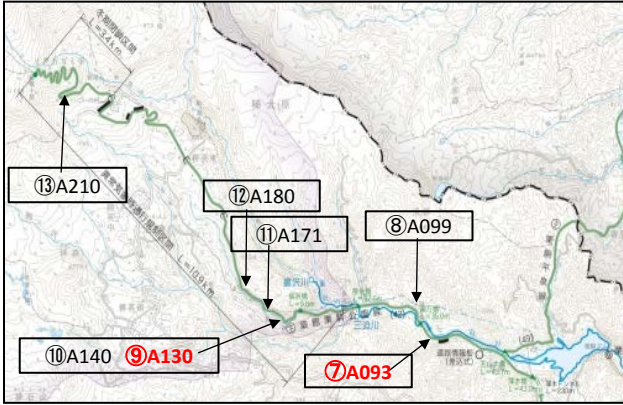
標準横断面図



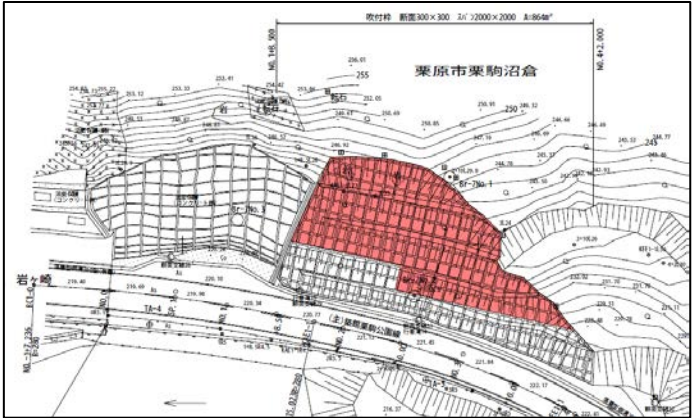
(主) 築館栗駒公園線 沼倉災害防除事業

事業名	社会資本整備総合交付金(防災安全)	
事業概要	主要地方道築館栗駒公園線は、栗原市築館と栗駒山登山口である「いわかがみ平」を結ぶ路線であり、登山客や栗駒国定公園内にある名所、温泉等を訪れる観光客にとって重要なアクセスルートとなっている。 当事業箇所には、法面に滑落や崩落しやすい危険な区間があるため、法面对策を実施し、通行の安全確保と観光振興の促進を図るものである。	
事業内容	1事業箇所 栗原市栗駒沼倉地内 2全体事業費 C=316百万円 3施工延長 L=400m 4事業期間 平成25～31年度 5進捗率(H28末) 64% 6 H29事業費 C=30百万円	【全体計画】 全体計画延長 L=400m 法面工事 【平成29年度概要】 法面工事L=82m 吹付砕工A=600 m ² 枠内モルタル吹付A=450m ²
	事業効果	道路法面の災害防除により通行の安全が確保され、栗駒山麓の観光振興が促進される。

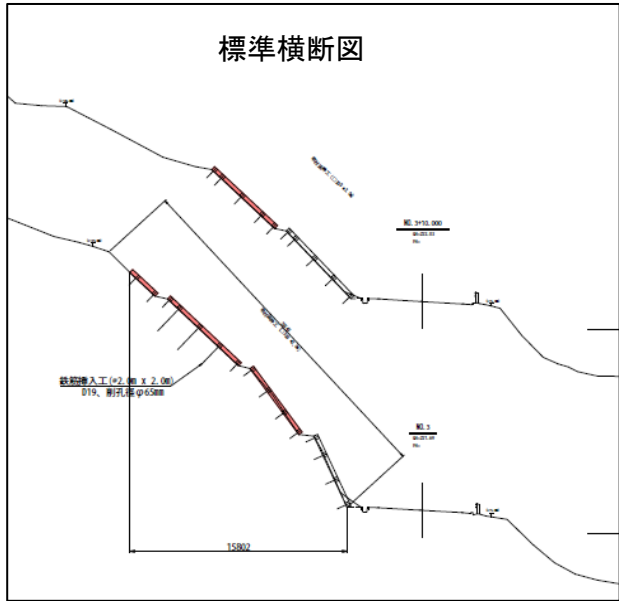
位置図



平面図



標準横断面図



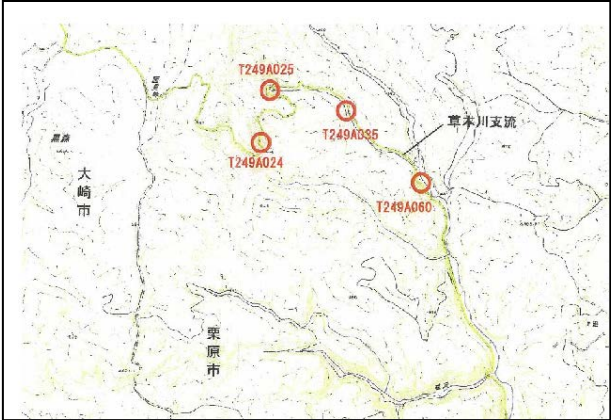
現況写真



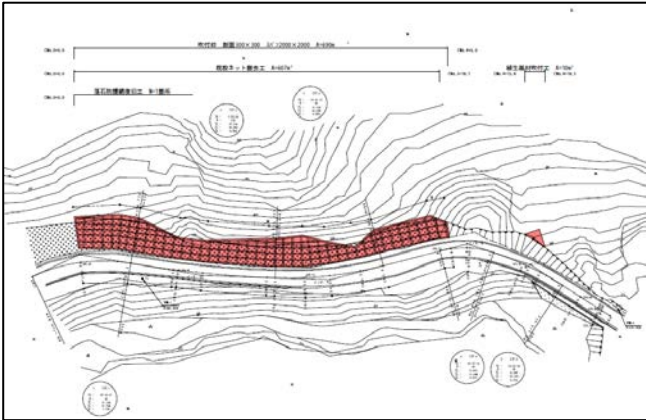
(一)岩入一迫線 草木沢災害防除事業

事業名	社会資本整備総合交付金(防災安全)	
事業概要	<p>一般県道岩入一迫線は、大崎市鳴子温泉岩入と栗原市一迫を結ぶ路線である。 事業箇所である栗原市花山地区は県西北部に位置し、「一檜山・田代県自然環境保全地域」に含まれ、沿線にある「こもれびの森 森林科学館」では自然学習体験などで多くの利用者が訪れている。 当箇所の法面は、H24道路防災総点検において要対策と判断され、モルタル吹付及びロックネット等を設置しているが、地山崩壊の危険性が進行して不安定な状況となりつつあることから、法面对策の実施による法面の安定化と通行の安全確保を図るものである。</p>	
事業内容	1事業箇所	栗原市花山草木沢地内
	2全体事業費	C=165百万円
事業内容	3施工延長	L=220m
	4事業期間	平成26～31年度
	5進捗率(H28末)	36%
	6 H29事業費	C=30百万円
		【全体計画】 全体計画延長 L=220m 法面工事 【平成29年度概要】 法面工事L=62m 吹付砕工A=620m ²
事業効果	道路法面の災害防除により通行の安全が確保される。	

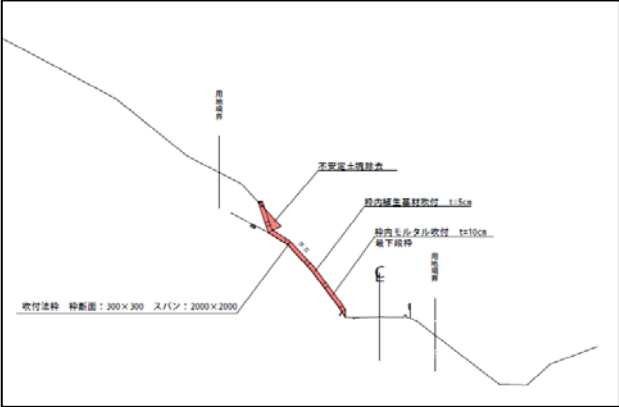
位置図



平面図



標準横断面図

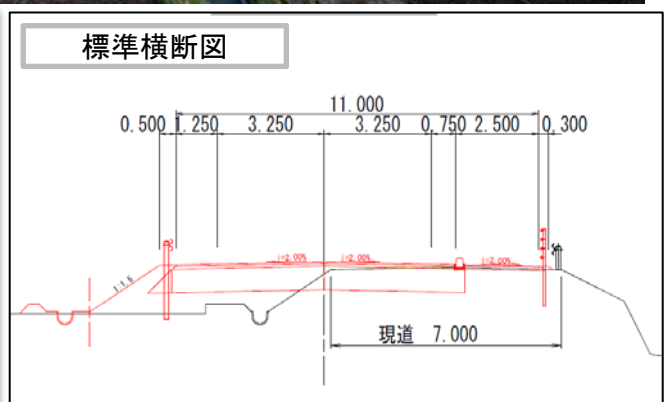
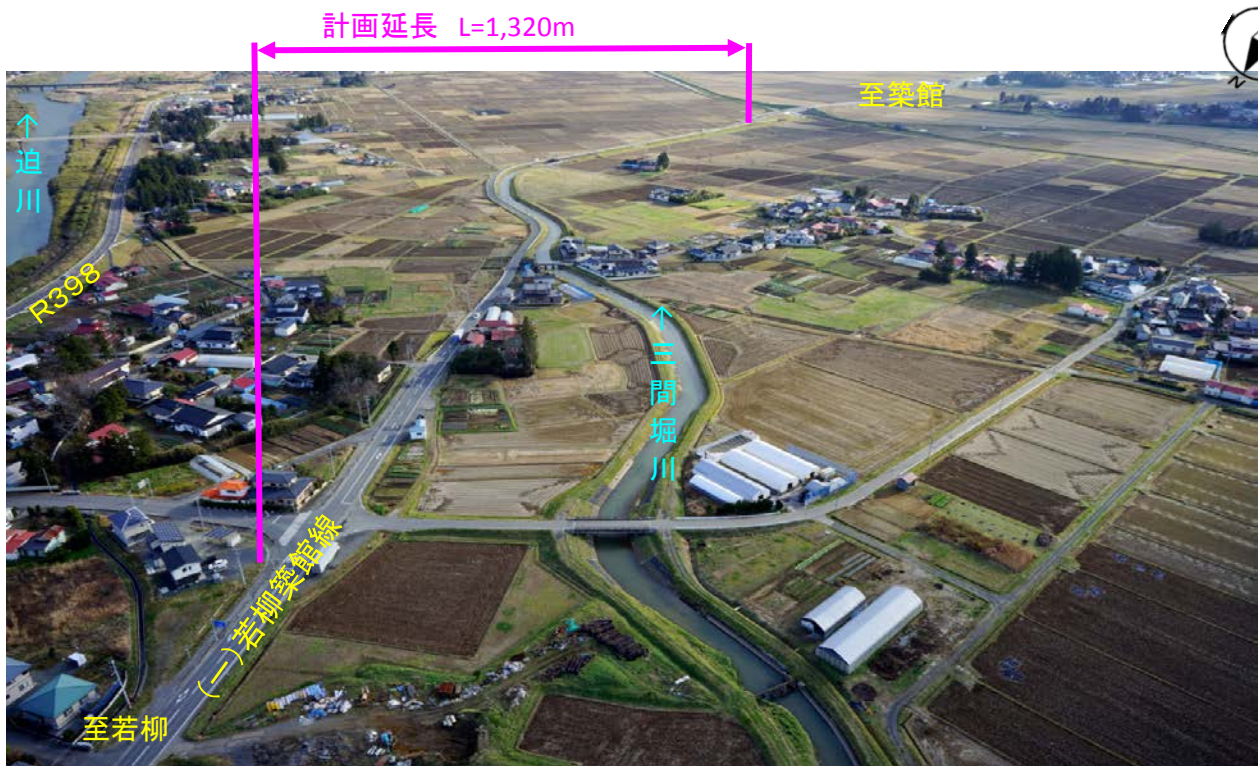


現況写真等



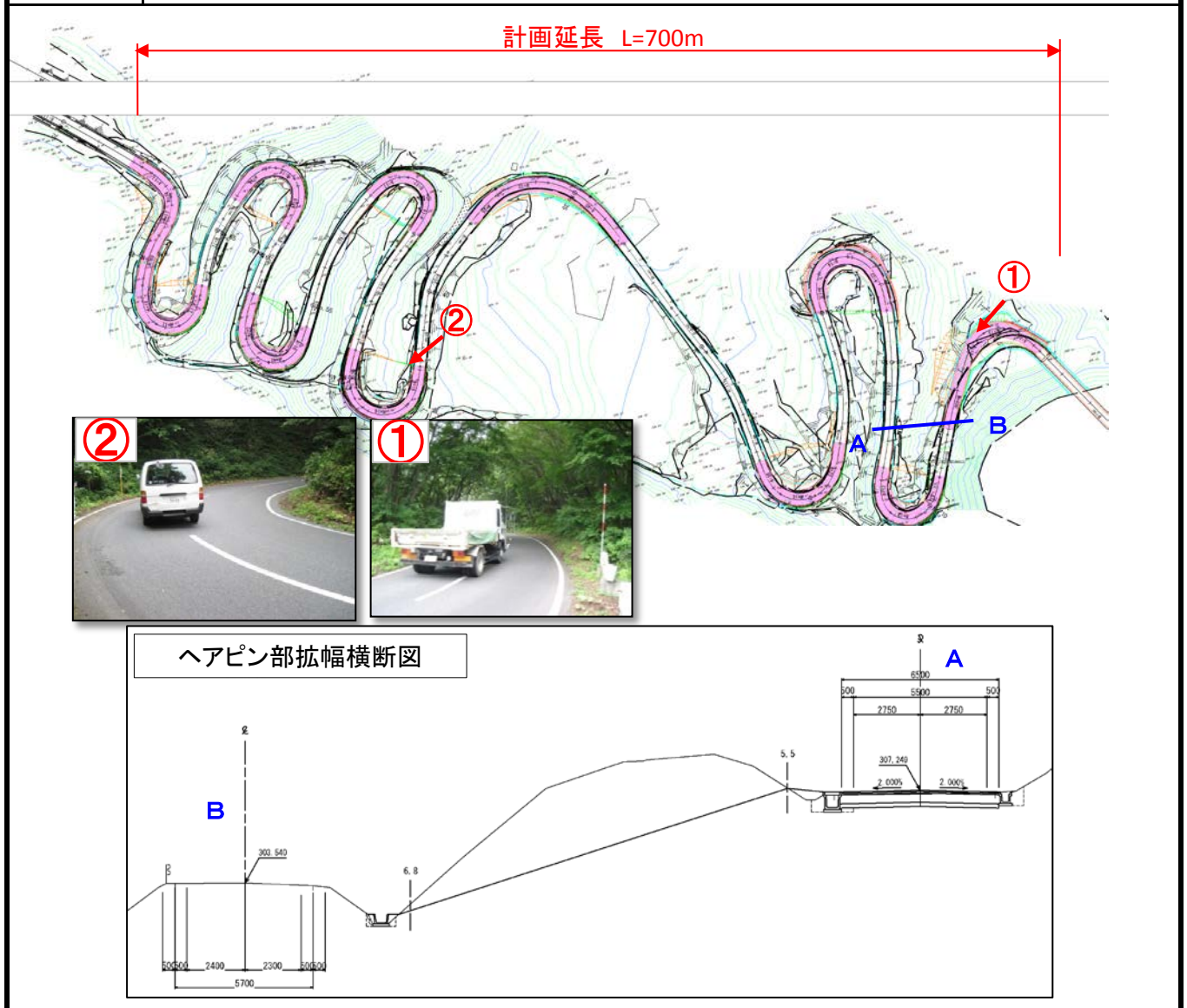
(一)若柳築館線 川南道路改良事業

事業名	社会資本整備総合交付金(地域活力基盤)	
事業概要	一般県道若柳築館線は、栗原市若柳と同市築館を結ぶ幹線道路である。 当事業箇所は、みやぎ県北高速幹線道路第Ⅰ区間の供用開始等に伴い交通量が増加しているが、幅員が狭く未歩道なため、通学生など地域住民の安全確保が急務となっている。道路拡幅及び歩道整備により、地域住民の交通安全確保と利便性の向上、みやぎ県北高速幹線道路へのアクセス性向上を図るものである。	
事業内容	1 事業箇所 栗原市若柳川南川原地内 2 全体事業費 C=500百万円 3 施工延長 L=1,320m W=6.5(11.0)m 4 事業期間 平成27～31年度 5 進捗率(H28末) 18% 6 H29事業費 C=20百万円	【全体計画】 計画延長L=1,320m 【平成29年度事業概要】 道路盛土 V=2,000m ³
	事業効果 地域住民の交通安全確保と、みやぎ県北高速幹線道路へのアクセスが向上する。	



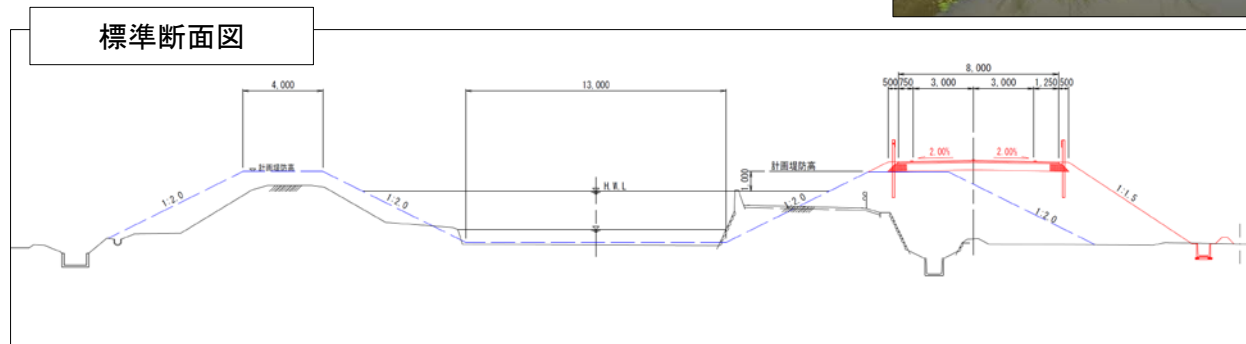
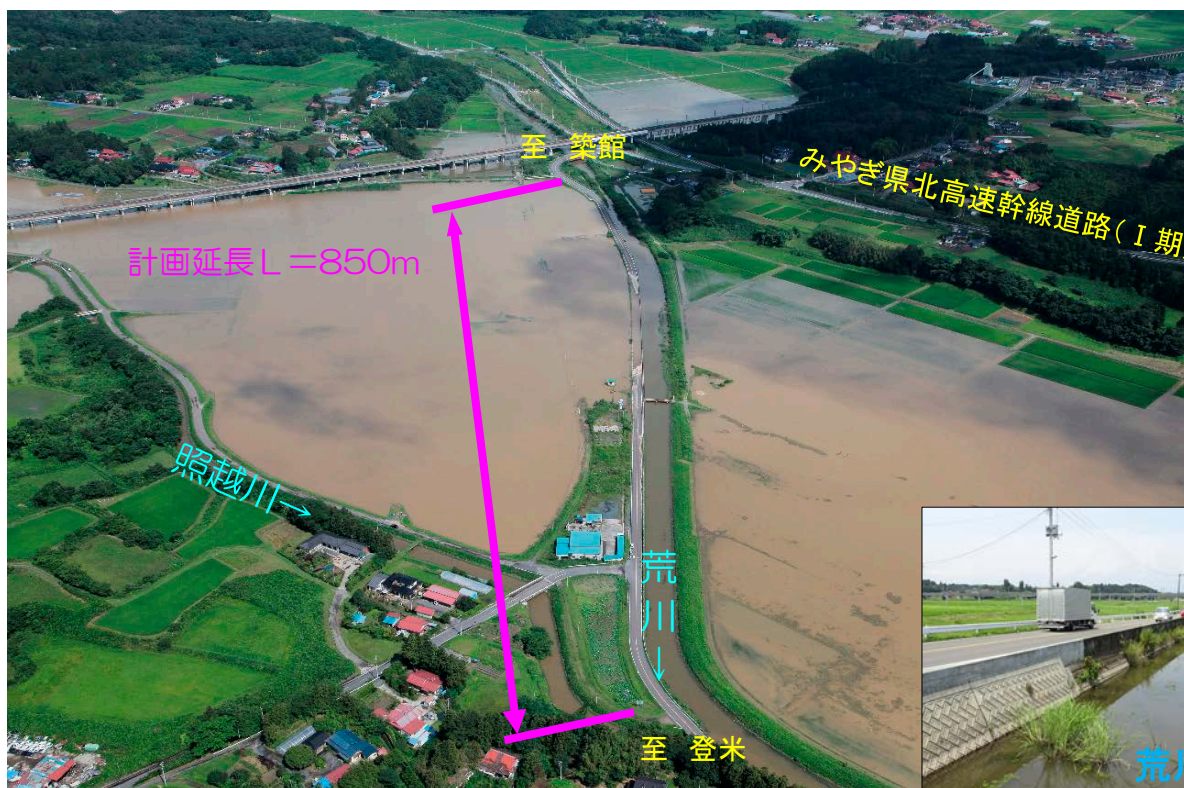
国道398号 温湯道路改良事業

事業名	(県単)一般道路改良事業	
事業概要	(国)398号は、石巻市を起点に、女川町、南三陸町、登米市、栗原市を經由して秋田県由利本荘市に至る幹線道路である。 当事業箇所は、栗駒国立公園に位置し、自然景観や温泉など観光資源に恵まれ、多くの観光客が訪れる。当区間は急峻な地形のため、急カーブや急勾配が連続し、幅員狭少で見通しも悪く、車両のすれ違い等通行に支障を及ぼしている。このため、カーブ区間の拡幅等により視距を改善し、安全で円滑な通行を確保するものである。	
事業内容	1 事業箇所 栗原市花山字本沢温湯地内 2 全体事業費 C=150百万円 3 施工延長 L=1.4km W=5.5(6.5)m 4 事業期間 平成26～30年度 5 進捗率(H28末) 26% 6 H29事業費 C=50百万円	【全体計画】 計画延長 L=1.4km 【平成29年度事業概要】 道路改良 一式
	事業効果 道路拡幅等により安全で快適な通行を確保することで、観光振興など地域の活性化が図られる。	



(主) 築館登米線 萩沢道路改良事業

事業名	(県単)一般道路改良事業	
事業概要	<p>主要地方道築館登米線は、栗原市築館と登米市登米町を結ぶ約35kmの幹線道路であり、栗原・登米地域の物流や産業振興、地域間交流などに重要な路線である。</p> <p>当事業箇所は、一級河川荒川との兼用堤区間であり、近年頻発する豪雨時には、荒川水位が急上昇して堤防を越え、周辺地域に冠水被害をもたらし、さらに長時間にわたる通行止めなど、圏域の生活、経済活動に多大な損失を与えている。このため、河川改修による堤防嵩上げ等と併せ、道路の拡幅及び嵩上げ等を行うなど、河川と道路整備を一体で行うことにより、越水等による冠水被害の軽減と、安全で快適な通行を確保するものである。</p>	
事業内容	1 事業箇所 栗原市築館字萩沢地内 2 全体事業費 C=800百万円 3 施工延長 L=850m W=6.5(8.5)m 4 事業期間 平成27～31年度 5 進捗率(H28末) 2% 6 H29事業費 C=151百万円 道路費 C=53百万円 河川費 C=98百万円	【全体計画】 計画延長 L=850m 【平成29年度事業概要】 盛土工 L=450m
	事業効果	荒川改修と道路改良により、洪水被害のリスクが軽減し、みやぎ県北高速幹線道路を補完する東西軸の幹線として、物流や地域間交流の促進が期待される。

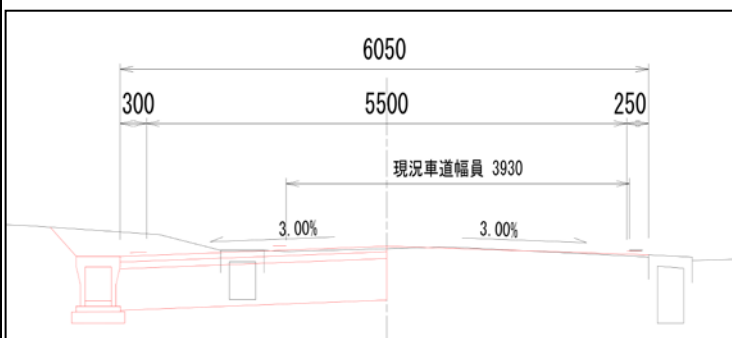


(一)大鳥沢辺線 稲屋敷道路改良事業

事業名	(県単)一般道路改良事業	
事業概要	<p>一般県道大鳥沢辺線は、栗原市栗駒大鳥を起点に、金成沢辺の国道4号に至る生活道路である。</p> <p>当事業箇所は、当路線の起点部に位置し、一般国道457号、(主)栗駒岩出山線の3路線が集約するが、幅員が狭く、車両のすれ違いが困難なため交通事故の危険性が高く、また歩行者の安全な通行に支障を及ぼしている。このため、交差点改良による円滑で安全な通行と歩行者の交通安全の確保を図るものである。</p>	
事業内容	<p>1事業箇所 栗原市栗駒稲屋敷地内</p> <p>2全体事業費 C=45百万円</p> <p>3施工延長 全体L=60m</p> <p>4事業期間 平成24～29年度</p> <p>5進捗率(H28末) 55%</p> <p>6 H29事業費 C=20百万円</p>	<p>【全体計画】</p> <p>道路改良・舗装工L=60m (大鳥沢辺線 L=35m) (一般国道457号 L=25m)</p> <p>【平成29年度概要】</p> <p>道路改良 L=60m</p>
事業効果	交差点改良による交通事故リスクの軽減や、円滑で安全な通行の確保など利便性が向上する。	



(一)大鳥沢辺線 標準横断図



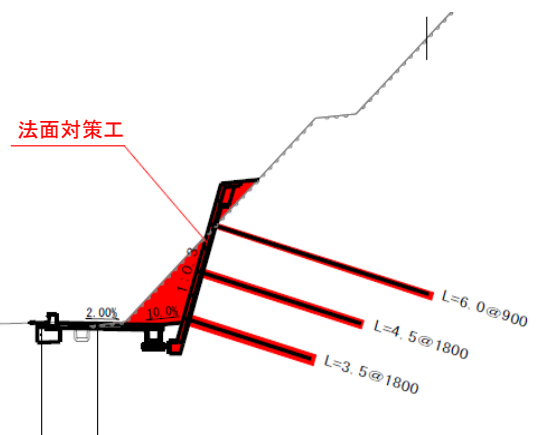
(主)河南築館線 萩沢土橋交通安全施設整備事業

事業名	(県単)交通安全施設整備(一種)	
事業概要	<p>主要地方道河南築館線は、石巻市河南と栗原市築館源光を結ぶ幹線道路であり、地域間連携・交流に重要な役割を果たしている。</p> <p>当事業箇所は、道路勾配が連続して変化し、カーブが続き見通しが悪いうえに、未歩道なため歩行者等は危険な状況下での通行を余儀なくされている。</p> <p>このため、歩道整備により、地域住民の交通安全確保と利便性を向上させるものである。</p>	
事業内容	1事業箇所	栗原市築館萩沢土橋地内
	2全体事業費	C=492百万円
事業内容	3施工延長	L=990m
	4事業期間	平成24年度～
	5進捗率(H28末)	45%
	6 H29事業費	C=66百万円
	【全体計画】	全体計画延長 L=990m
		歩道設置
	【平成29年度概要】	法面对策工A=230m ²
事業効果	歩道整備による交通安全の確保と利便性が向上する。	

位置図



標準横断面図



現況写真等



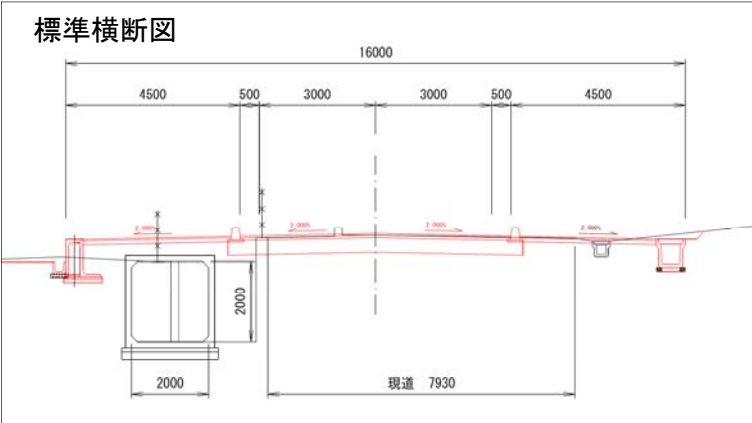
起点側から築館方面を望む



終点側から瀬峰方向を望む

(都)源光町田線 内沢道路改築事業

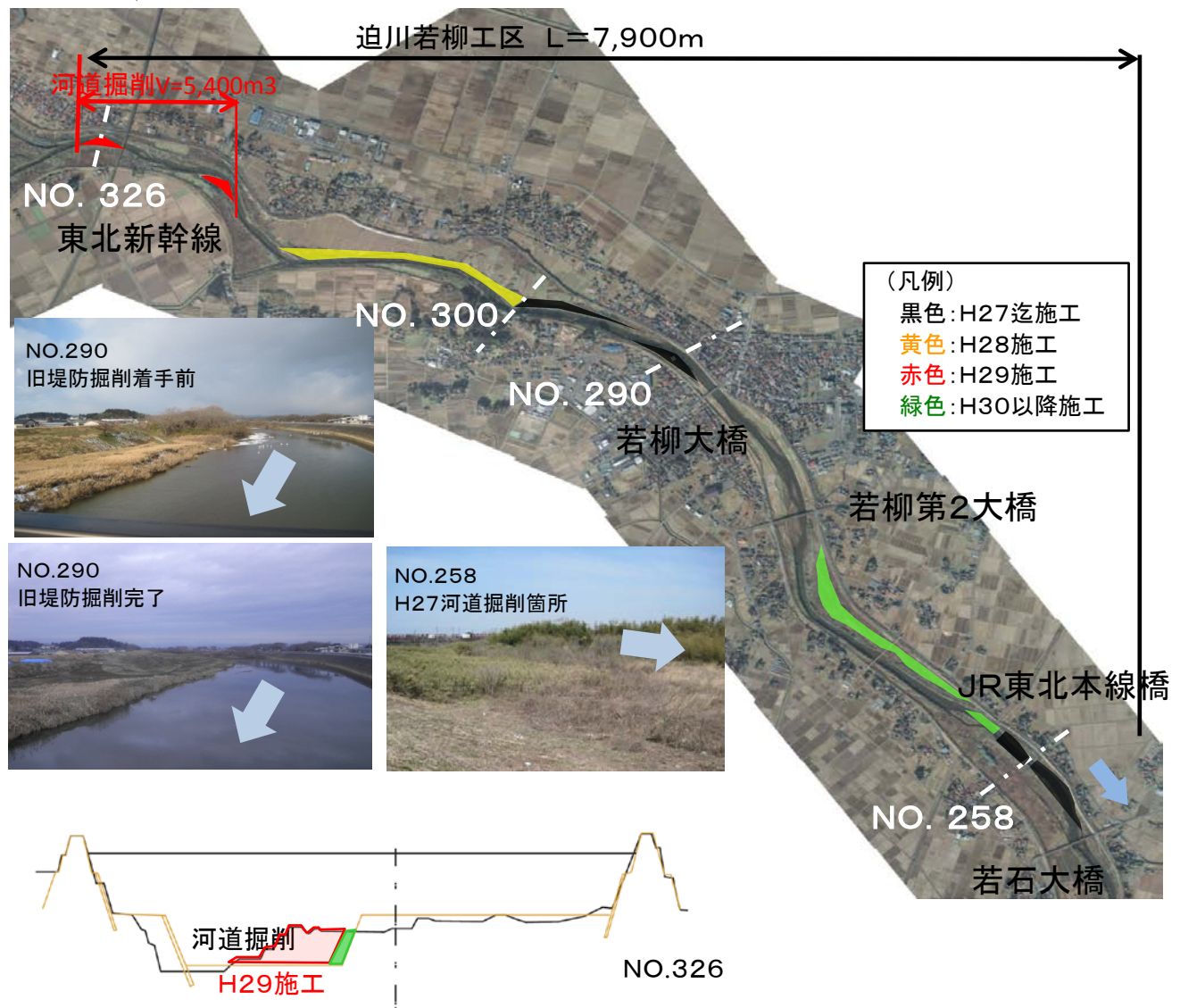
事業名	社会資本整備総合交付金	
事業概要	当路線は、栗原市築館伊豆三丁目から築館字照越町田に至る都市計画街路である。 当事業箇所は、築館の旧市街地に位置し、瀬峰方面や国道4号等へのアクセスとして、また地域住民の生活道路として利用されている。しかし、幅員狭少で歩道が未整備であり、車両や歩行者等は危険な状況での通行を余儀なくされていることから、街路事業により道路拡幅及び歩道整備を行い、安全で快適な通行及び歩行者の交通安全を確保するものである。	
事業内容	1事業箇所 栗原市築館内沢 2全体事業費 C=400百万円 3施工延長 L=200m W=6.0(16.0)m 4事業期間 平成26～30年度 5進捗率(H28末) 37% 6 H29事業費 C=110百万円	【全体計画】 計画延長 L=200m 改築・舗装工 L=200m 【平成29年度概要】 工事(水路) L=200m
	事業効果	安全で快適な通行及び交通安全が確保されるとともに、アクセス性や利便性が向上する。



(2) 「災害に強い川づくり」など治水対策等の推進による総合的な防災力の強化

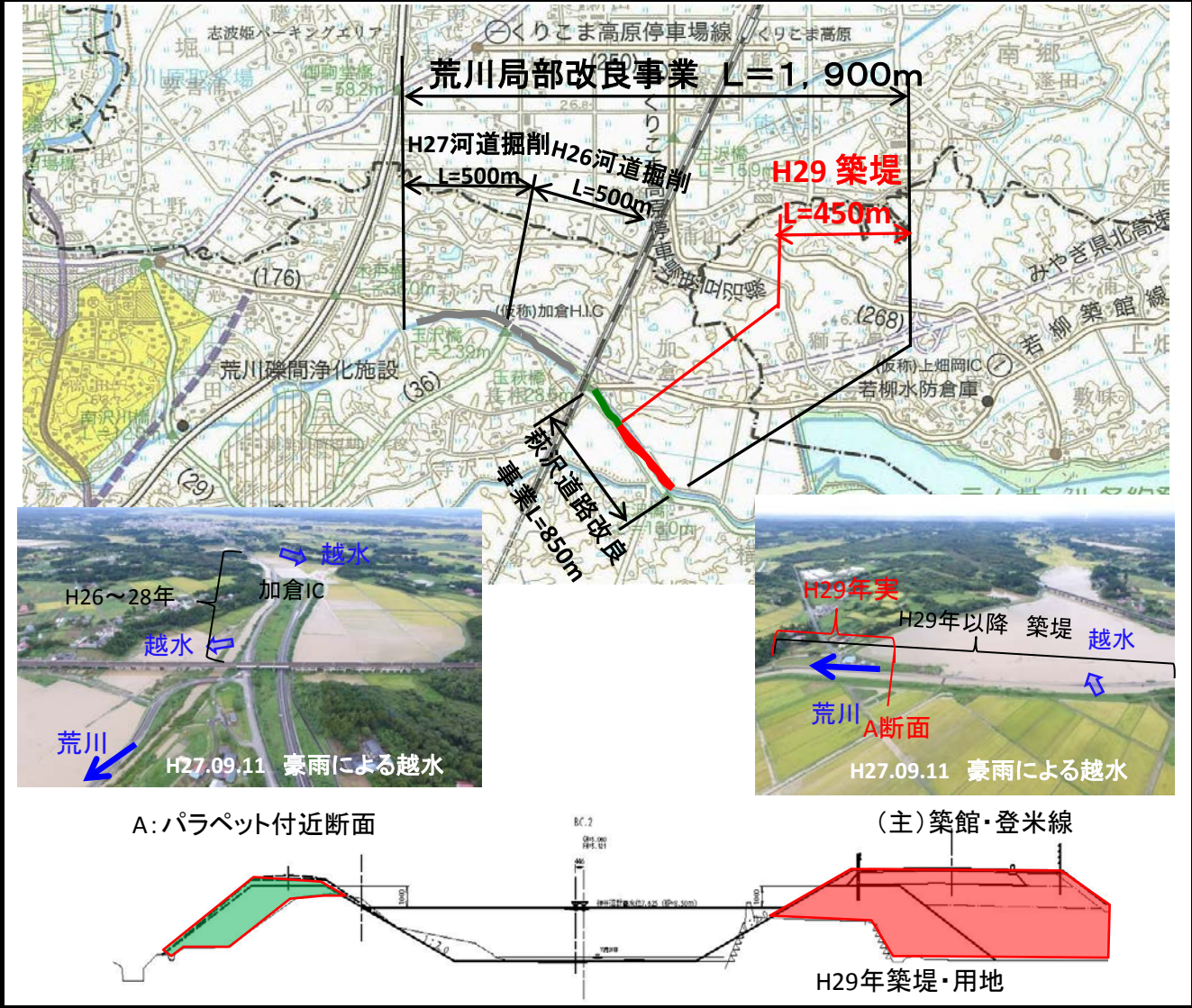
一級河川迫川 河川改修事業

事業名	社会資本整備総合交付金	
事業概要	<p>迫川は、栗駒山麓を水源に、栗原市及び登米市を貫流して旧北上川に合流する北上川水系の一級河川であり、流域面積約913km²、流路延長約95kmと県内屈指の規模を誇っている。</p> <p>若柳市街地付近は、旧堤防が残り川幅が狭い狭窄部であったが、平成25年の長沼ダム完成により5ダム1遊水池の施設群による洪水処理能力が向上したため、若柳狭窄部を含めた一連区間の河道掘削により洪水を安全に流下させる河道断面を確保し、治水安全度を向上させることで、若柳工区の洪水被害を未然に防止するものである。</p>	
事業内容	1 事業箇所	栗原市若柳字川南～大林
	2 全体事業費	C=2,071百万円
事業内容	3 施工延長	L=7,900m
	4 事業期間	平成24～32年度
	5 進捗率(H28末)	30%
	6 H29事業費	C=230百万円
	【全体計画】	河道掘削 L=7,900m
	【平成29年度概要】	河道掘削 V=5,400m ³
事業効果	河道掘削の促進により治水安全度を向上させ、洪水被害の軽減による安全・安心な暮らしの確保と経済・産業基盤を確立させる。	



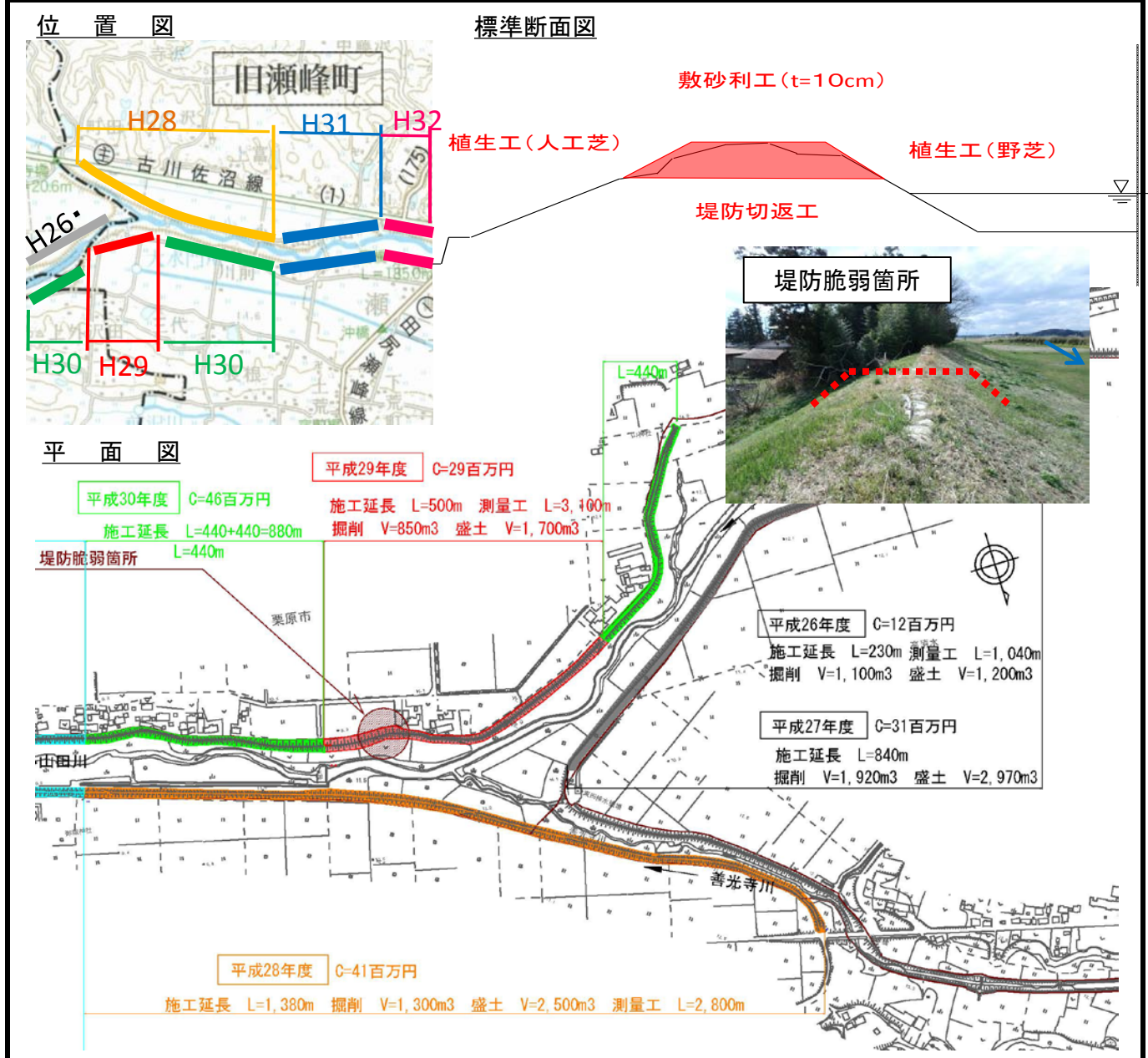
一級河川荒川 河川改修事業

事業名	(県単)河川局部改良事業		
事業概要	<p>荒川は、栗原市築館南部の丘陵地を水源として伊豆沼に注ぐ一級河川である。近年は国道4号バイパスやみやぎ県北高速幹線道路、工業団地が整備されるなど、流域内における開発動向が著しい。</p> <p>当事業箇所は、(主)築館登米線との兼用堤区間であり、昭和30～40年代に災害関連等で改修済であるが、軟弱地盤のため交通荷重や地震等の影響で堤防が沈下し、洪水時に越水等で県道や周辺田畑が長時間冠水する被害が発生している。このため、荒川堤防嵩上げとともに兼用堤区間の道路拡幅・嵩上げなど堤防機能の強化を図るとともに流下能力を向上させることで冠水被害の軽減を図るものである。</p>		
事業内容	1 事業箇所	栗原市築館照越	【全体計画】 築堤・護岸・道路改良 L=1,900m
	2 全体事業費	C=1,200百万円 (内河川費400百万円)	
事業内容	3 施工延長	L=1,900m	【平成29年度概要】 築堤 L=450m
	4 事業期間	平成26～32年度	
	5 進捗率(H28末)	35%	
	6 H29事業費	C=98百万円	
事業効果	沿川地域の浸水被害を軽減し、生活・産業基盤を確立させる。		



一級河川小山田川 河川改修事業

事業名	(県単)河川局部改良事業		
事業概要	小山田川は、大崎市岩出山の丘陵地を水源に、栗原市南部の清水・瀬峰を東流して蕪栗沼に流入する一級河川である。 当事業箇所は、昭和40年代に局部改良により整備済であるが、整備後40年以上経過し、堤防内には草木茎が根付くなど脆弱化や堤体の沈下等が顕著であり、洪水時に越水や破堤を招く危険が高いことから、草木根や茎を除去し、堤防嵩上げや築堤盛土を行うことで堤防機能の向上・回復を図るものである。		
事業内容	1 事業箇所 栗原市清水～瀬峰 2 全体事業費 C=353百万円 3 施工延長 L=7,480m 4 事業期間 平成26年度～32年度 5 進捗率(H28末) 24% 6 H29事業費 C= 29百万円	【全体計画】 築堤工 L=7, 480m 測量工 一式	【平成29年度概要】 築堤工 L=500m 測量工 一式
事業効果	堤防機能を回復させ、沿川地域の洪水被害を軽減させる。		

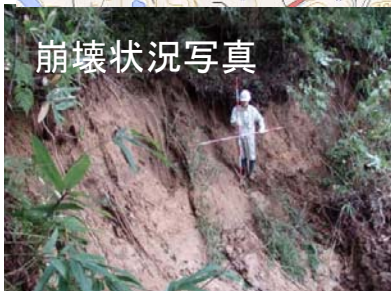
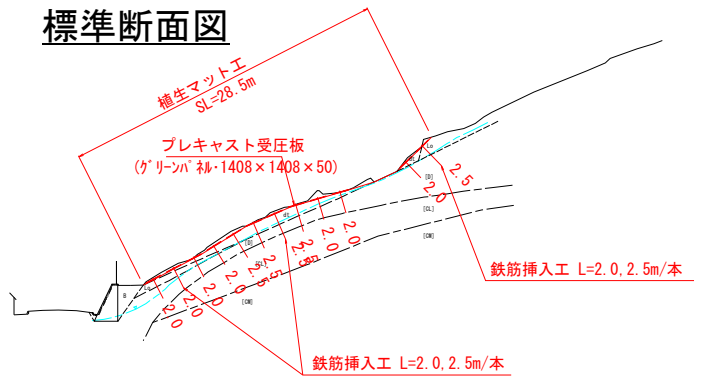


北沢向 急傾斜地崩壊対策事業

事業名	県単急傾斜地崩壊対策事業		
事業概要	栗原市鶯沢南郷北沢向地区は、旧細倉鉱山に隣接した集落である。 当事業箇所は、平成27年9月の関東・東北豪雨において斜面の土砂崩れが発生し、住宅付近まで崩壊土が到達したため、周辺住民は不安を抱えながら生活している。このため、崩落した箇所を含め危険性の高い急傾斜地について崩壊対策を行い、地域住民の安全な暮らしを確保する。		
事業内容	1 事業箇所	栗原市鶯沢南郷北沢向地内	【全体計画】
	2 全体事業費	C=90百万円	法面工(鉄筋挿入工) 一式
	3 施工延長	L=58m	【平成29年度概要】
	4 事業期間	平成29年度～30年度	
	5 進捗率(H28末)	0%	
	6 H29事業費	C=20百万円	
事業効果	土砂災害を未然に防止し、安全で安心な暮らしを確保する。		

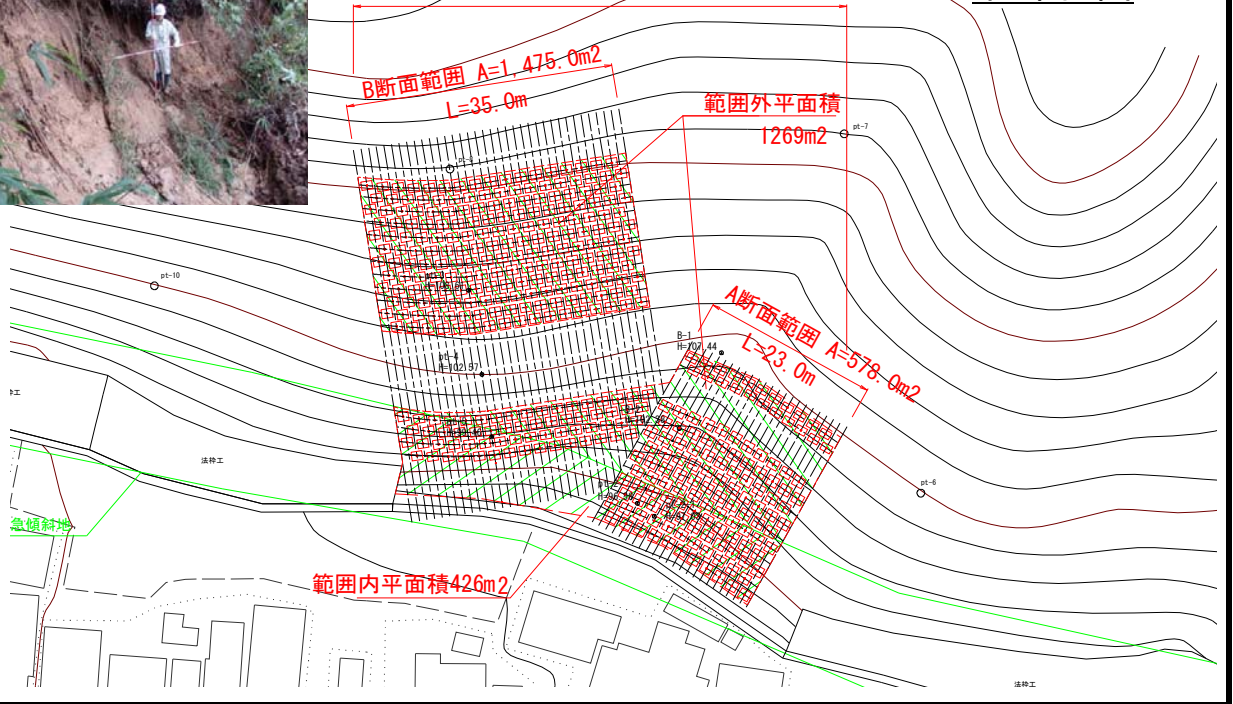


標準断面図



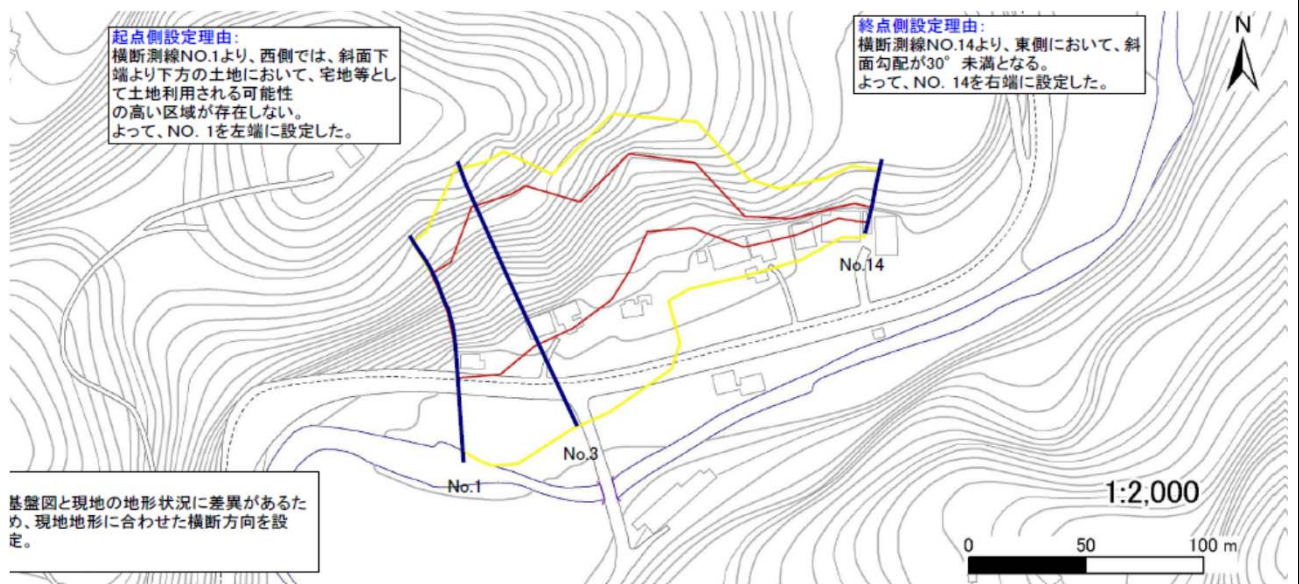
鉄筋挿入工 L=2.0~3.0m/本
 (ネジ節異形棒鋼D19, @2.0×2.0m, 削孔径φ65mm)

平面図



総合流域防災事業(土砂災害危険箇所基礎調査)

事業名	総合流域防災事業(土砂災害危険箇所基礎調査)	
事業概要	<p>近年頻発する豪雨等により、全国的に土砂災害(がけ崩れ、土石流、地すべり)の危険性が高まっており、土砂災害から住民の生命を守るため、危険箇所を住民等に周知し、警戒避難体制の整備などのソフト対策を推進するため制定された「土砂災害防止法」に基づき、現地踏査や計測などの基礎調査を行い、土砂災害警戒区域の早期指定を目指すものである。なお、当管内では、基礎調査を平成30年度に完了させ、栗原市のハザードマップ作成状況を勘案しながら早期区域指定を図る予定である。</p> <p>※「土砂災害防止法」:土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律</p>	
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業箇所 管内土砂災害危険箇所 2 全体事業費 C=260百万円 3 調査箇所 518箇所 4 事業期間 平成17年度～30年度 5 進捗率(H28末) 61.3% 6 H29事業費 C=66百万円 	<p>【全体計画】</p> <p>土石流危険渓流:260箇所 地すべり:12箇所 急傾斜地崩壊危険箇所:246箇所</p> <p>【平成29年度予定】</p> <p>土石流危険渓流:49箇所 急傾斜地崩壊危険箇所:86箇所</p>
事業効果	土砂災害警戒区域等の早期指定とともに、避難路・避難場所など緊急時の体制整備や住民への防災意識の啓発、高揚を図る。	



凡例

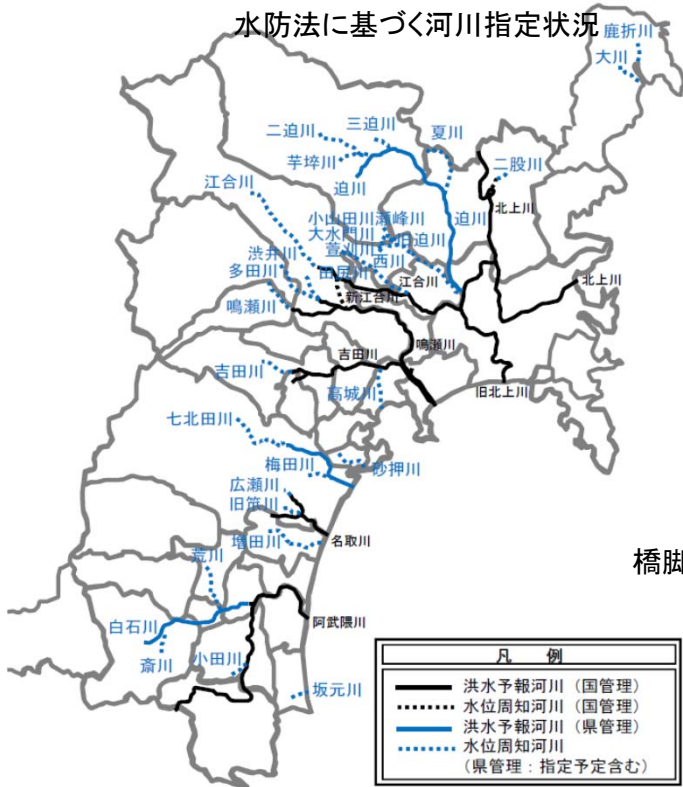
- 上端
- ▲ 下端
- 横断測線
- 危害のおそれのある土地の区
- 著しい危害のおそれのある土地の区

調査例:急傾斜地危険箇所(がけくずれ)



総合的な防災力の強化

事業名	円滑な避難に向けたソフト対策の拡充
事業概要	洪水から人命・財産を守るため、水害頻度が高い河川を水位周知河川に指定し、河川水位状況等の情報をリアルタイムで発信し、円滑かつ迅速な避難行動に結びつくよう情報システムの充実を図る。また、土砂災害危険箇所において、関係機関や住民等と現地状況の把握を行うとともに、緊急時の避難路や避難場所等の確認など防災意識の啓発・高揚を図る。さらに、災害時の確かな情報伝達に向け、職員による洪水対応演習や防災訓練の実施など、ソフト対策として地域や関係機関等と連携し防災力を強化していく。



- 栗原地域管内の指定状況**
- 洪水予報河川(1河川): 迫川
 - 水位周知河川(7河川):
二迫川, 三迫川, 芋埜川, 小山田川,
瀬峰川, 大水門川, 萱刈川

河川監視カメラ
(迫川若柳大橋)



橋脚への基準水位表示



土砂災害防止パトロール状況

宮城県
Miyagi Prefectural Government

宮城県土木部総合情報システム

提供システム一覧

河川流域情報

砂防情報

道路情報 ▼

お知らせ 2017年04月28日 更新

- ◆システムメンテナンスのため平成29年5月19日(金)13時頃から5月22日(月)10時頃までシステム利用できなくなります。
- ◆平成28年4月から砂防情報の土砂災害警戒情報システム、土砂災害警戒メール配信システムをリニューアルしました。土砂災害警戒情報システム(携帯版)はURLが変更となっておりますので、ご注意ください。
携帯版URL (<http://www.doshasagai.pref.miyagi.jp/sabo-m/>)
- ◆観測中の雨量観測所: 倉石岳, 朝日, 白葉, 芳の平
- ◆観測中の水位観測所: 唐戸, 鹿折大橋

本日の訪問者数: 54人
累計の訪問者数: 44180人

この情報は、無人観測所から送られてくるデータを観測後遅延してお知らせする形で提供されています。そのため観測開始の遅延や通信障害等により、異常値がそのまま表示される可能性があります。ご利用の際はご注意ください。

各情報についてのお問い合わせは、下記連絡先またはメールにてお問い合わせください。

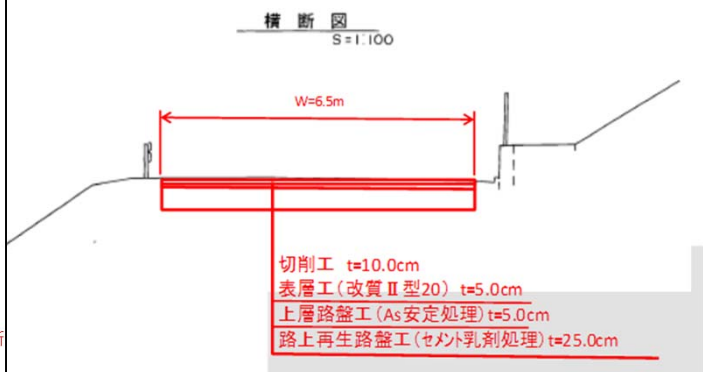
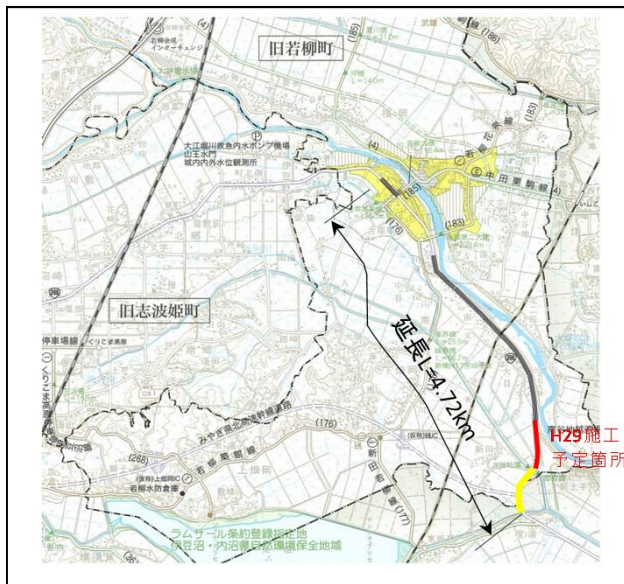
各情報	担当課	電話番号	E-mail
河川流域情報	土木部河川課	022-211-3171	kasen01@pref.miyagi.jp
砂防情報	土木部防災砂防課	022-211-3181	bousa@pref.miyagi.jp
道路情報	土木部道路課	022-211-3151	road@pref.miyagi.jp

河川・砂防関係の情報システム

(3) 既存施設の適正な維持管理・更新

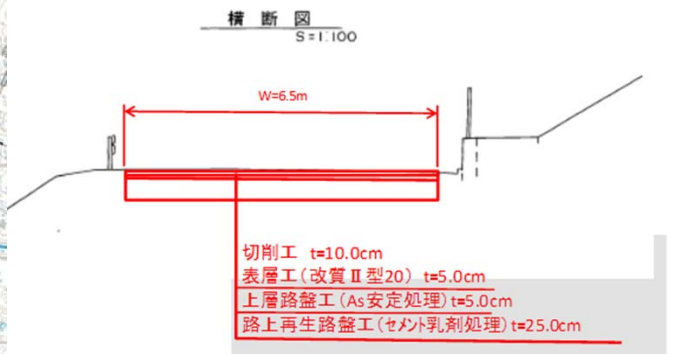
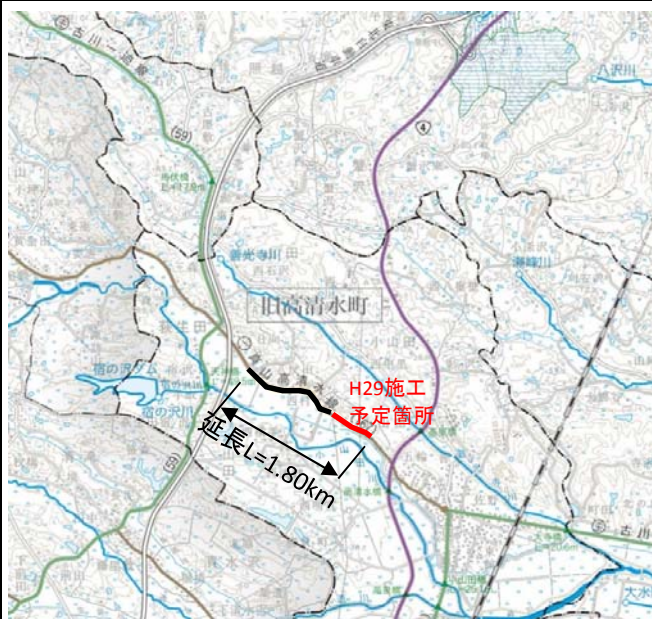
国道398号 川南舗装補修事業

事業名	社会資本総合整備交付金(防災安全)	
事業概要	一般国道398号は、石巻市を起点に登米市、栗原市を經由して秋田県由利本荘市に至る幹線道路である。若柳川南地区は栗原市東部に位置し、登米市と境界を接する。 当路線は、沿岸部と内陸部を結ぶため大型車両の通行が多く、舗装面のわだち掘れやクラック等の損傷が顕著であるため、舗装補修により安全で快適な通行を確保し、物流や地域間交流の促進を図るものである。	
事業内容	栗原市若柳字川南地内 2全体事業費 C=540百万円 3施工延長 L=4,720m 4事業期間 平成24～30年度 5進捗率(H28末) 61% 6H29事業費 C=32百万円	【全体計画】 L=4,720m 路面切削, 路上再生路盤工, 上層路盤工, 表層工 【平成29年度予定】 L=490m 路面切削, 路上再生路盤工, 上層路盤工, 表層工A=3,190m ²
事業効果	舗装補修により、安全で快適な通行が確保される。	



(一)真山高清水線 小山田舗装補修事業

事業名	社会資本総合整備交付金(防災安全)	
事業概要	一般県道真山高清水線は、国道4号と国道47号を結ぶ幹線道路であり、また、沿岸部と内陸部を結ぶアクセス道としての性格を持つ重要路線である。大型車両の通行が多く、舗装面のわだち掘れ等損傷が著しく、早期に補修する必要がある。 当事業箇所の舗装補修により、安全で快適な通行を確保し、物流や生活道路としての機能を向上させるものである。	
事業内容	1事業箇所 栗原市高清水小山田地内	【全体計画】 L=1,800m
	2全体事業費 C=220百万円	路面切削, 路上再生路盤工, 上層路盤工, 表層工
事業内容	3施工延長 L=1,800m	【平成29年度予定】 L=400m 路面切削, 路上再生路盤工, 上層路盤工, 表層工A=2,600㎡
	4事業期間 平成26~30年度	
	5進捗率(H28末) 77%	
	6H29事業費 C=50百万円	
事業効果	舗装補修により、安全で快適な通行が確保される。	



既存施設の適正な維持管理・更新

事業名	道路、河川・砂防施設の維持管理
事業概要	<p>「みやぎ型ストックマネジメント」に基づき、既存施設の巡視や点検等を行い、異常箇所の早期発見及び補修を図るとともに計画的な補修・更新を実施し、施設の機能維持に努め、災害等の未然に防止する。</p> <p>また、地域との連携・協働による施設管理の取組みを推進していく。</p> <p>【管内パトロール・施設点検等】 直営や委託業者による定期的な道路や河川のパトロール及び施設点検により、異常箇所の早期発見及び補修に努め災害等の未然防止を図る。また、冬期間について、積雪や路面凍結のおそれがある場合は、安全な通行の確保に向け、除融雪作業を実施する。</p> <p>【施設の計画的な維持補修・更新】 道路や河川、砂防施設の機能維持を図るため、点検結果等に基づき計画的な維持補修及び更新を行う。</p> <p>【地域との連携・協働】 愛護団体やスマイルサポーターなどとパートナーシップを構築し、活動支援や情報発信を行うことで美化活動の啓発や高揚を図るなど、地域と連携・協働した施設管理の取組みを推進する。</p>



管内の活動団体について(H29.4月現在)

数字: 団体数

活動団体別	道路	河川	合計
愛護団体	8	10	18
スマイルサポーター	41	5	46



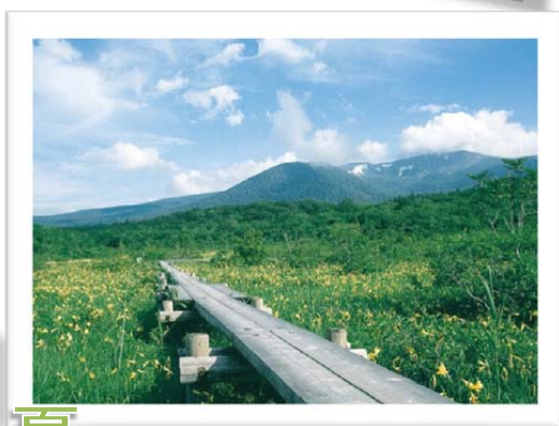
～自然豊かな栗原の四季～



迫川若柳河川公園(出典:栗原市)



栗駒山(出典:観光課)



世界谷地(出典:観光課)



伊豆沼(出典:観光課)



〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1

宮城県北部土木事務所栗原地域事務所

TEL 0228-22-2167 / FAX 0228-22-9049

URL: <http://www.pref.miyagi.jp/nh-khdbk/>

E-mail: nh-khdbk@pref.miyagi.lg.jp